

NPO法人



桜ボランティア協会

ひろげようボランティアの“わ”

第97号

令和2年6月15日発行

新年度のご挨拶

NPO法人桜ボランティア協会
会長 小澤優子

昨年度は、「駅前憩いの家」でのサロンの催しと「病院等付添支援」としての病院送迎を二本の柱とした活動が順調に伸展し、支援サービスを利用される皆様方に好評をいただきました。しかし年度末には全世界に広がった新型コロナウイルス感染症対策のため、協会の活動も中止を余儀なくされました。今後は状況を判断し、6月より徐々に再開します。



また昨年度にボランティア団体の全国大会ともいうべき「いきがい・助け合いサミット in 大阪」に初めて参加して見聞を広め、私たちの活動が正しい方向に向かって活動していることを確認しました。さらに、助け合い学び合うための講座「アシスト咲楽」を開き、ボランティア活動の実践に必要な知識や技能の習得、コミュニケーション能力アップなどを目的とした4種類の研修を実施しました。

当協会はこれからも四日市市から推奨されている「住民主体サービス」事業の充実に重点を置き、高齢者や体の不自由な方への支援、介護予防や健康維持を中心とした福祉活動に力を注ぎます。またそれ以外の、子どもの見守りやボランティアスクール、福祉講座への参加なども継続し、互いに助け合い、元気で暮らしよい桜地区を目指したいと願っています。住民のみなさまのご支援とご協力、地域の諸団体との連携をよろしく願います。

令和2年度総会を開きました

今年度の総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、少数の役員で進行させる「書面評決」による開催方式として開きました。5月17日（日）13時30分から、会場を桜ボランティア協会会議室にて会員参加数235名（うち書面による参加230名、役員5名）で行いました。

総会は予定した式次第に沿って進められ、令和元年度事業報告、令和元年度決算報告を

提案どおり賛成多数で可決しました。

役員選出については理事15名（うち新任3名）と監事2名（新任1名）が提案され可決しました。

令和2年度事業計画と予算も提案どおり可決しました。

事業計画のなかで、今後の課題として援助会員の増加を目指すことと事務所の老朽化対策に取り組むことを確認しました。



数字で見るボランティア活動

*前年度（令和元年度）こんな実績がありました

活動内容	活動回数・延べ参加人数
ゴミ出し	延べ214回
病院送迎	延べ1,276回
駅前憩いの家	96回・延べ1,232人
小・中学校のボランティアスクール	3回・延べ43人

*病院送迎に関する地区別会員状況

人数	桜台	桜町	智積町	桜花台	桜新町	合計
送迎依頼者	83	45	20	5	9	162人
支援運転者	8	7	8	4	1	28人

高齢化が一番進む桜台地区に送迎依頼者が多くいます。

送迎依頼者162人を支援運転者28人が延べ1,276回、病院へ送迎しています。



（中学生の車イス体験：協会事務所駐車場にて）



（「駅前憩いの家」の簡単手芸）

イエローレシートキャンペーン対象店が「ザ・ビッグ」に替わりました

毎月11日の「イオン・デー」にイオングループ各店では、レジ清算時に受け取った黄色いレシートを店内備え付けのボックスに投函すると、レシート金額の1%が、各団体に寄贈されます。

これまでイオン四日市尾平店で取り扱っていましたが、本年度からイオンタウン内にある「ザ・ビッグ菺野店」に替わりました。毎月11日にビッグでお買い物の際には、黄色いレシートをぜひ「桜ボランティア協会」のボックスに投函ください。毎年数万円が寄与金となっています。

なお、レシートが必要な方は、サービスカウンターで交換券が発行されます。



(19団体ある中で、左下が桜ボランティア協会のボックスです)

「咲楽検定」… さくらのまちを知るための三択クイズ

- 1) 桜地区市民センターには図書室「桜文庫」があり、多くの人に利用されています。一般図書は約930冊ありますが、児童書は何冊あるでしょうか？
A 約250冊 B 約1500冊 C 約2500冊
- 2) ミルクロードが近鉄湯の山線を跨ぐアーチ形の橋の名前は？
A 宿野橋 B レインボーブリッジ C 菺野東橋
- 2) 桜台団地を横切る東名阪自動車道には5本の橋が架かっています。その一番西側に架かる橋の名前は？
A 横谷橋 B さつき橋 C 奥別所橋
- 3) 三滝川の名前は、御在所岳源流付近の「三つの滝」に由来しています。蒼滝、百間滝、あと一つは？
A 菺野富士滝 B 潜土（くぐりど）の滝 C 羚羊（かもしか）滝

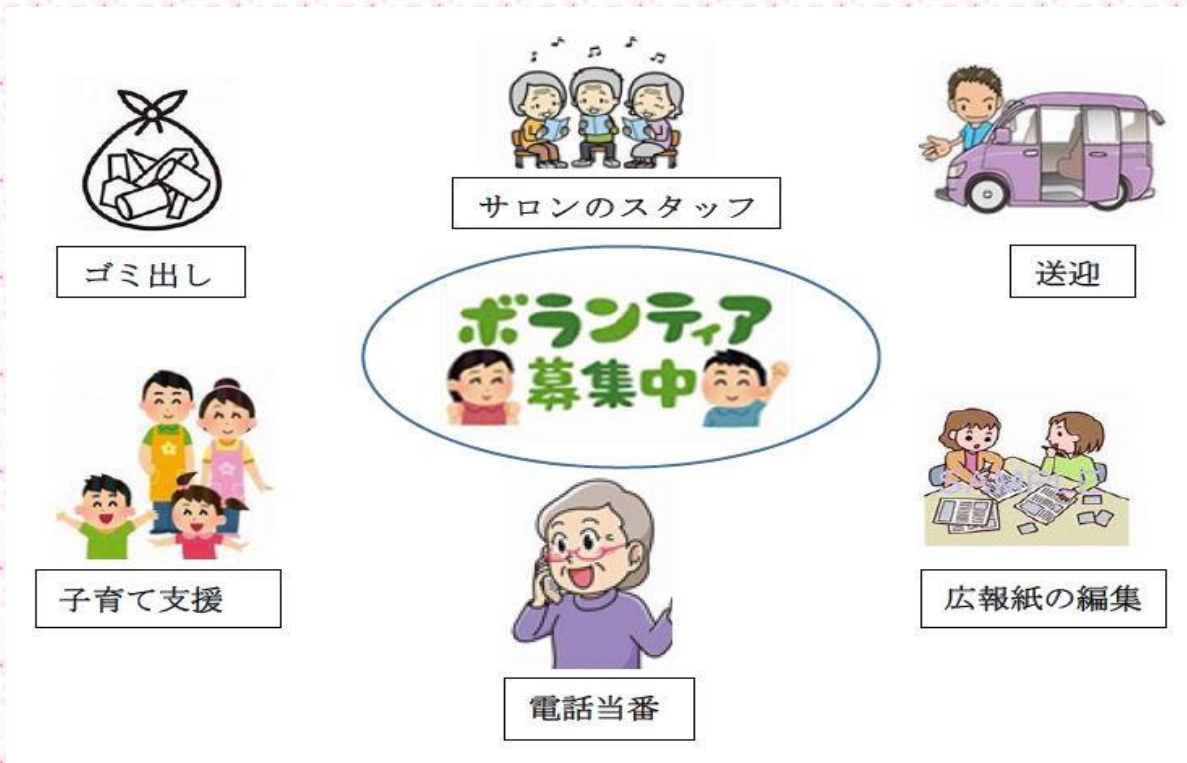
桜ボランティア協会の行事について

新型コロナウイルス感染症予防のため、3月末よりボランティア協会では多くの活動を制限していましたが、6月1日より外出時付添支援の「病院送迎」と「買い物送迎」を再開しました。また「駅前憩いの家」も参加人数を縮小して再開しました。

桜地区の夏祭りは、今後、協会として参加せず、個人として参加、協力することになりました。

求む！ボランティアの支援会員

私たちの住む町「桜地区」には、あなたを必要としているボランティアの働きがたくさんあります。ゴミ出し、子育て支援、自動車による病院送迎、サロン活動のスタッフ、事務所の電話当番、などなど。広報紙の編集に携わる広報部員も必要としています。あなたもご自分のできそうなボランティアを探してみませんか。お問い合わせは、事務所のコーディネーターまでご連絡ください。



「咲楽検定」の答え

1) C

2) A

3) C

4) B

訂正とお詫び 前回96号の「ゴミ出し」の記事において、小林さんのお名前を誤記しました。小林貞義さんではなく、小林貞佳さんでした。お詫びして訂正いたします。

広報委員：伊藤洋史・辻 康・野崎京子・望月千晶

イフクシ
☎ 327-1294